

『既治療小細胞肺癌に対するナブパクリタキセルを含む化学療法の検討』 に關係する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『既治療小細胞肺癌に対するナブパクリタキセルを含む化学療法の検討』という調査、研究を行っています。

<調査の対象となる患者様>

2013年2月から2014年11月までに、近畿中央胸部疾患センターと大阪府立呼吸器アレルギー医療センターで既治療小細胞肺癌に対してナブパクリタキセルを含む化学療法を施行した患者様14名を対象とします。

<目的>

過去に治療歴のある小細胞肺癌に対して、ナブパクリタキセルを含む化学療法の有効性と安全性を後方視的に検討する事です。

<調査方法>

患者様の診療記録を参照し、抗癌剤の効果、最終転帰、副作用などを調べることで抗癌剤治療の有効性や安全性(副作用発現)について後ろ向きに検討します。

研究にあたって新たにご負担をおかけすることはありません。

<患者様のプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報 は 厳重に守られます。お名前、生年月日など患者様を特定できる情報が外に出ることは決してありません。

<研究参加に関して>

この研究への参加に同意をいただけない場合は、以下の連絡先にお申し出ください。研究対象から除外させていただきます。

研究実施施設： 近畿中央胸部疾患センター

大阪府立呼吸器アレルギー医療センター

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

内科 内藤 祐二郎

e-mail: yuu-naito@kch.hosp.go.jp

TEL: 072-252-3021 FAX: 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ近畿中央胸部疾患センター臨床試験審査委員会(IRB)における厳重な審査・承認をうけて実施しています。

(当院ホームページに掲載)